

目次 Contents

- 3 新型コロナとの闘いを乗り越える
オールとちぎ宣言
- 4 まちの話題
- 6 下野ブランド認定品募集
- 8 保健便り
- 11 文化活動及びスポーツ活動における
表彰制度のご案内
- 12 栃木県知事選挙が実施されます
- 14 障がい福祉瓦版
- 15 つるカフェ市民講座ラジオ特別編
- 16 環境トピックス
- 18 新・下野市風土記
- 19 生涯学習だより
- 20 マイナンバーカードが健康保険証として
利用できるようになります！
- 22 国民年金だより
- 23 レッツスポーツ
- 24 図書館だより
- 26 暮らしの情報
- 38 10月のカレンダー
- 39 地域おこし協力隊が着任しました
- 40 イベントカレンダー

今月の表紙

自治会との合同避難訓練

今月の表紙は、川島・鯉沼地区の自治会や自主防災組織などと市職員が合同で行った避難訓練での、避難者受け入れ訓練の様子です。

合同避難訓練は、令和元年東日本台風の教訓をもとに、台風の多い季節に備え開催されました。台風による田川・鬼怒川の増水を想定し、三王山のふれあい館を避難所として、避難者の受け入れ訓練、避難所の割り振り訓練、災害用ベッドなど

の資機材の取り扱い訓練などを行いました。

また、新型コロナウイルスの予防対策をとりつつ、避難所の開設や避難者の受け入れを行うため、必要な体制や手順を確認しました。

災害から身を守るためには、平時からハザードマップを確認するなど、事前の準備が大切です。新型コロナウイルスへの備えも含め、改めて見直してみましよう（広報9月号31ページ参照）。

今月の何の日

10月27日 テディベアの日

この日は、瀕死の熊を撃つことを拒んだという逸話から、テディベアの名前の由来となったアメリカ合衆国26代大統領セオドア・ルーズベルトの誕生日です。病気の子供もなど、心の支えを必要としている人々にテディベアを贈る運動、Good Bear of the Worldを広めたテディベア愛好家たちによって制定されました。

Good Bear of the World は、1950年代、アメリカの紳士の思い付きから始まったと言われていました。病と闘う子どもたちを勇気づけるためにテディベアを贈り続けた行動が周囲の共感を呼び、やがて世界的に発展していきました。

イギリス支部を設立したボブ・ヘンダーソン元英国陸軍大佐は、ベアコレクターとして有名で、

テディベアの日制定の中心人物でもあります。陸軍時代、ドイツのシュタイフ社製のベア「テディガール」を、第二次世界大戦のノルマンディ上陸作戦にも同行させたという逸話があるほど、テディベアを愛してやみませんでした。

1904年生まれの「テディガール」は、1994年、ロンドンで行われたオークションで、アンティーク・テディベアとして世界最高額の11万ポンド（当時の円換算で約2,000万円）で落札され、今は日本の伊豆テディベア・ミュージアムのシンボルとなっています。

幼いころ、ぬいぐるみのやわらかな感触に慰められた日々を思い出し、ちょっと切なくなったり、懐かしくなったりする、そんな記念日です。

■人口と世帯（9月1日現在）

人口／60,268人（-52）、男性／30,020人（-20）、女性／30,248人（-32）、世帯数／24,681世帯（-9）

